

順天堂大学が「UNIVAS AWARDS 2019-2020」4部門で優秀賞を受賞 ～学生アスリートのためのスポーツ環境の整備や学業充実の取り組みなどが評価されました～

順天堂大学は、一般社団法人大学スポーツ協会(以下、UNIVAS)に加盟し、学生アスリートのスポーツ環境の整備や学業の充実を図るとともに、持続可能な大学スポーツ振興に向けた取り組みを推進しています。

この度、本学スポーツ健康科学部の指導者及び活動が「UNIVAS AWARDS 2019-2020」において、「コーチ・オブ・ザ・イヤー」、「学修機会確保に関する優秀取組賞」、「成績管理・対策に関する優秀取組賞」、「安全確保に関する優秀取組賞」の4部門で優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。同賞は、大学スポーツ全体の活性化につなげることを目的に、競技成績のみならず、学業充実や安全安心、大学スポーツの盛り上げ等に著しい成果を上げること等に貢献した学生アスリートやスポーツに関わる学生、OB・OG、指導者、団体に授与されるものです。今回は、全国の加盟大学・競技団体から111件の応募が寄せられていました。なお、本学が受賞した4部門の詳細につきましては、下記の通りです。

<優秀賞を受賞した指導者・取り組み内容について>

【1】コーチ・オブ・ザ・イヤー 人材育成や競技力向上に尽力した指導者を表彰

受賞者:山崎 一彦 (順天堂大学スポーツ健康科学部教授、陸上競技部 監督)

陸上競技を通じたグローバルな人材育成と、自身の言動でリーダーシップが取れる学生の育成を目指し、国内外の指導者とのネットワークを積極的に広げて、最新の指導内容・指導方法の習得に努めています。また、スポーツドクター及び日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーと連携し、過剰なトレーニングを繰り返すことで慢性疲労状態となる「オーバートレーニング症候群」や、特定の筋肉など身体の一部の使いすぎにより炎症が生じる「オーバーユース」を引き起こすようなトレーニングによるハラスメント防止などにも尽力。競技者としてもオリンピック3大会での出場経験を有しています。



山崎 一彦 監督

<関連WEB> 「JUNTENDO SPORTS」 URL:<https://www.juntendo.ac.jp/sports/news/20190218-05.html>
陸上男子400mハードル 第一人者のオリンピックが語る若手アスリート育成への想い(順天堂大学スポーツ健康科学部 山崎一彦)

【2】学修機会確保に関する優秀取組賞 運動部学生に対する学修機会の確保に関する先進的取り組みを表彰

受賞内容:「勉強会」の開催

本学スポーツ健康科学部では、全学部生の80%以上が運動部に所属しています。運動部活動を中心とした生活を送ることで、学生の中には学修意欲・学業成績の低下が見受けられるケースも生じていたことから、2016年度より学業と運動部活動の両立をサポートするための「勉強会」を実施。授業のない空き時間を活用して実施することで、運動部活動を休まずに学べるため、学生が学修機会を確保しやすくなっています。また、教員を目指す学生がラーニングアシスタントとして勉強会に加わることで、学生同士の協働的な学びの場が生まれています。



スポーツ健康科学部での勉強会の様子

【3】成績管理・対策に関する優秀取組賞

運動部学生に対する成績管理・対策に関する先進的取り組みを表彰

受賞内容:「入学前教育プログラム」と「フォローアップカード」による成績管理

AO入試(トップアスリート選抜)と推薦入試(スポーツ推薦)の合格者に対する「入学前教育」として、スポーツ健康科学部では、1泊2日の集合型教育プログラムを実施しています。この教育プログラムでは、受講者がアスリートとして期待されるモラルやマナーについて理解を深めるとともに、大学での学びが自らの競技力にどのように活かされるかを知ることで、学業と競技の両立に対する意識づけを行うことを目指しています。

入学後に所属する運動部の指導者と受講者が、大学4年間の目標や将来についてディスカッションする場も設けられているため、受講者にとっては入学後の不安解消につながるのと同時に、指導者にとっても一人一人の目標や成長について共有できる貴重な機会となっています。また、入学後はこれらの学生に対し「フォローアップカード」を作成し、各運動部の指導者が所属学生の学業成績を把握しながら指導を行えるようにしています。



入学前教育プログラムでの運動部指導者とのディスカッションの様子

<関連WEB> スポーツ健康科学部ホームページ

【スポーツ健康科学部】入学前教育プログラムを実施 (<https://www.juntendo.ac.jp/hss/news/20190128-02.html>)**【4】安全確保に関する優秀取組賞**

運動部活動における安全対策に関する先進的取り組み事例を表彰

受賞内容:「スポーツクリニック」の充実

スポーツドクターなど医師免許を持つスポーツ健康科学部の専任教員(4名)を中心に、キャンパス内でのケガや心身の不調に関して、予防や回復の相談に応じる「スポーツクリニック」を2018年度より開設しています。それまで、ケガなどの不調があっても重症化してから病院受診する学生が多かった中、スポーツクリニックを設置し、整形外科や内科、メンタルヘルス、婦人科などの医事相談(月8回)を始めたことで、重症化する前に学生が相談しやすい環境が整備されました。現在では毎月70名ほどの学生が利用しています。スポーツクリニックと医学部附属病院が連携することで、ケガなどが生じた際にも速やかな受診が可能となり、学生の安全確保が進んでいます。



「スポーツクリニック」での医事相談の様子

<入賞者および入賞団体一覧>
他に以下、6部門で入賞しました。

【1】パーソン・オブ・ザ・イヤー

文武両道を実践し、他の模範となる運動部学生を表彰

受賞者:机 龍之介 (スポーツ健康科学部 スポーツマネジメント学科 2019年度卒業生 スカッシュ部)

【2】パラアスリート・オブ・ザ・イヤー

パラスポーツにおいて活躍した学生を表彰

受賞者:奥山 一輝 (スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 2019年度卒業生 パラパワーリフティング)

【3】サポーターングスタッフ・オブ・ザ・イヤー

学生アスリートや運動部を支える活躍をした学生を表彰

受賞者:今野 桃佳 (スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 3年 体操競技部)

【4】スポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー

スポーツパーソンシップ溢れるプレーや振る舞いを行った学生を表彰

受賞者:瀬戸 杏華 (スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 2019年度卒業生 バレーボール部)

【5】大会・プロモーションに関する優秀取組賞

大会・競技の普及や活性化、集客・応援促進のための大会プロモーションに関する優良取り組み事例を表彰

受賞団体:順大スポーツ編集部(取組名:「順大スポーツ新聞」による競技の普及や集客・応援促進に関する取組)

【6】スポーツ統括部局/SA賞

大学スポーツ振興に関する先進的取り組み事例を表彰

受賞団体:順天堂大学 (取組名:「パラスポーツ」の普及)